

## 平成24年度美術講座〈楽しい美術史入門—近代から現代へ〉

回	月 日	講 座 名	内 容
第1回	5月10日(木)	ガイダンス/美術館ボランティアへの誘い モネとゴッホ 印象派からポスト印象派へ	講座趣旨説明/ 印象派を中心として、新印象派、ポスト印象派まで19世紀後半に興った西洋美術の新しい流れを紹介する。
第2回	5月24日(木)	マティスとピカソ、モンドリアン フォーヴィスムからキュビスム、抽象絵画へ	世紀末の象徴主義を源として、フォーヴィスム、ドイツ表現主義へと連なる、感覚の表出を志向した20世紀初頭までの系譜をたどる。
第3回	5月31日(木)	デュシャンとエルンスト ダダからシュルレアリスムへ	ダダイズムからシュルレアリスムへの流れを追い、20世紀前半に展開された、人間の情念を創造の出発点とする表現の系譜を紹介する。
第4回	6月7日(木)	美術の見方・感じ方(西洋編)	西洋美術の見方をアイコン、シンボルなどを例にとり、いくつかの作品をわかりやすく紹介。
第5回	6月14日(木)	ポロックとウォーホル 戦後アメリカ美術の軌跡	抽象表現主義からコンセプチュアル・アートまで、世界の美術界の動向をリードした戦後アメリカ美術の成果を紹介する。
第6回	6月21日(木)	黒田清輝と近代洋画	高橋由一を先駆者とする明治期の「洋画」の確立、印象派以後の新思潮の導入、梅原・安井に代表される「日本的油彩」に至る過程を扱う。
第7回	6月28日(木)	横山大観と近代日本画	明治期の「日本画」の概念の成立から、大正期における油彩的表現の探求や伝統的表現の見直し、昭和期の新古典的表現などへ至る過程を扱う。
第8回	7月5日(木)	三岸好太郎と昭和モダニズム	三岸の作風の変遷をいながら、日本的フォーヴィスムの展開、大正期の前衛絵画運動、シュルレアリスムなど大正から昭和初期にかけてのモダニズムの動向を概観する。
第9回	7月12日(木)	岡本太郎と戦後アヴァンギャルド	シュルレアリスムからアヴァンギャルドのリーダーへと至った岡本太郎の足跡を軸に、戦中から〈もの派〉まで、日本美術界の軌跡を追う。
第10回	7月26日(木)	美術の見方・感じ方(日本編)	日本美術の見方を、自然のモチーフや季節、象徴性、遠近法などを例にとりわかりやすく紹介。
第11回	8月2日(木)	「東山魁夷展」への招待	開催中の「東山魁夷展」をより深く鑑賞するためのポイントを紹介する。
第12回	8月9日(木)	北海道美術の100年	北海道立近代美術館コレクションを中心に、戦前から戦後にいたる北海道美術の代表作を紹介する。
第13回	8月23日(木)	ガレとアール・ヌーヴォー、ガラスの世界	北海道立近代美術館コレクションを中心に、現代に至るガラスの造形世界を、歴史を辿りながらわかりやすく紹介する。
第14回	9月6日(木)	1920年代、パスキとパリの芸術家たち	北海道立近代美術館コレクションのなかでもパスキを中心に、エコール・ド・パリの群像とその終焉までを紹介する。
第15回	9月20日(木)	江戸文化のなかの浮世絵	北海道立近代美術館の浮世絵コレクションの魅力を、江戸文化の様子をまじえながら紹介する。版画全般のコレクションについてもあわせて紹介する。

\*講座日程・内容が、都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。